

就職指導の改善に関する研究実績報告書

学 校 名	北海道遠別農業高等学校	就職支援教員名	稲 葉 信												
<p>1 活動状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の公立高等学校5校の協力のもと、卒業生を対象とした早期離職の状況調査の実施 卒業後、離職せず継続して働いている卒業生を対象としたアンケートの実施 全校生徒を対象にした、外部講師を招いてのキャリア教育に関する講演の実施 3年生を対象にした、応募前のインターンシップなどの「個別型」や「体験型」進路行事の実施 3年生を対象にした、キャリアプランニングスーパーバイザーと連携した面接指導及び個別の進路相談の実施 全学年を対象にした、異校種間における交流活動の実施（計 11 回） クラウドサービスを活用した、各教育活動及び行事におけるポートフォリオの導入 <p>2 研究の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業後、離職せず継続して働いている卒業生を対象としたアンケートを管内の公立高校5校と連携して実施することにより、早期離職せずに仕事を継続していく上でどのような職場環境や能力が必要なのかを分析し、本校における就職指導を充実させることができた。 ○ 「個別（少人数）型」や「体験型」の進路行事の充実を図ることにより、就職後のミスマッチを予防し、就職に対する意欲を高め、生徒の社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力を向上させることができた。 ○ 進路行事だけではなく各教科等での活動においてもポートフォリオの活用を図ることにより、学校の教育活動全体において、生徒自身による学びの振り返りを充実させることができた。 ● 3年生になっても自己理解が深まらず、希望職種が定まらない生徒がいることから、入学当初から3年間を見据えた系統的な進路指導の充実を図る必要がある。 <p>3 次年度以降への改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期離職の状況調査において、調査項目（離職率、定着率、育成プログラムの実施状況、メンター・エルダー制度の導入状況等）の検討が必要である。 就職先における新規就職者へのフォロー体制を把握し、早期離職の改善に向けた取組の推進を図る必要がある。 <p>4 参 考</p> <p>内定率等（令和2年（2020年）2月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>就職希望者数</th> <th>内定者数</th> <th>内定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平 成 3 0 年 度</td> <td>15 名</td> <td>11 名</td> <td>90.9%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度（2019年度）</td> <td>7 名</td> <td>7 名</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	就職希望者数	内定者数	内定率	平 成 3 0 年 度	15 名	11 名	90.9%	令和元年度（2019年度）	7 名	7 名	100%
年 度	就職希望者数	内定者数	内定率												
平 成 3 0 年 度	15 名	11 名	90.9%												
令和元年度（2019年度）	7 名	7 名	100%												

※ 資料等がある場合は添付すること。